

2018 (平成30年) 11/29 木曜日

配達お問い合せ・購読お申し込み
0120-468-012 (6-21時)
定価1か月1580円(税別) 購読料117円 - 1冊60円

毎日小学生新聞

MAINICHI
発行所 毎日新聞東京本社 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話03-3212-0321
毎日小学生新聞編集部
郵便〒100-8051 (住所不要)
ファクス 03-3212-2591
電話 03-3212-3274
メール maishou@mainichi.co.jp

食品ロス考えるゲーム

中2の栗田さん考案

キッズデザイン賞を受賞



「食べ残しNOゲーム」を考案した栗田哲さん（大阪府豊中市）

大阪府大東市の中2、栗田哲さん(14)が小6の時に考案したカードゲーム「食べ残しNOゲーム」が今年の秋、史上最年少でキッズデザイン賞「キッズデザイン協議会会長賞」を受賞しました。栗田さんは、「遊びながら食品ロスの問題を考えるきっかけになれば」と話しています。

「食べ残しNOゲーム」では、プレイヤーが「すし屋さん」「ラーメン屋さん」などの飲食店の店主となり、もろの胃に参加したフリースタール「未来価値創造大学校」(大阪府)で、食べ残しをどう減らしていくかを競います。

始まりは「日本をよくしたい」

「食べ残しNOゲーム」は、小6の時に考案した。栗田さんは、父が経営する飲食店で大量に食べ残しがあることに着目しました。「食べ残しの干切りキャベツが60袋のゴミ袋に1袋半くらいあることに驚きました」。国内の食品ロスについても調べ、その

「自分と同世代の子もたちにも楽しんで学んでほしい」との思いから、人気のカードゲームの形式にしました。画用紙を切って、カードを作製。わずか数日でゲームの原形を作り上げたそうです。

その後、改良を繰り返しがびつたり同じになれば勝ち」というゲームにすることにしました。

量は年間約600万円を超えていることを知りました。食べ残しの原因は、客の「食べられる量」と店舗の「提供する量」の差だと考えた栗田さんは、「2つの量

ました。自身で出資者も募集するなどして1年9か月かけて商品化にこぎつけました。今年9月に発売され、学校の授業や企業の研修などでも使われています。今までに約300セット

きょうの紙面

親はなぜ怒る？ 5面

3面に **6さいからのニュース**

なるほどヒヨコ 2面

温暖化で山火事?

日本語どんぶらこ 4面

もとはアイヌ語

カレンダー 6面

12月は「あの人」



栗田さんが小6の時に作った手作りのカードゲームと、食品ロスに関する取材ノート

が売れたそうです。素直は、バスケットボールに夢中の中学生。そんな栗田さんは現在、食品の仕入れなどを扱う統編も構想中だと言います。「ゲームでさらなる食品ロスの課題を解決したい」と意気込んでいます。